

# 442. みんなこうすきーノ定理ノ一変形

森本清吾(物理學校)

Klimclime が Math. Ann. 111 S. 631-637 次ノ定理ヲ証明シテ居ル。

「 $\alpha x - y + \beta$  ( $\alpha$ ハ無理數,  $\beta$ ハ實數,  $x, y$ ハ整数)ニ於テ

$$|x(\alpha x - y + \beta)| < \frac{1+\varepsilon}{\sqrt{5}} \quad (x > 0) \text{----- (1)}$$

ナル如キ  $x, y$ ノ組ハ無數ニ存在スル。」

ツマリみんなこうすきーノ定理ニ  $x > 0$ ナル條件ヲ加ヘテ変形デアアル。  $x < 0$ ノ範圍ハ考ヘテ居ナイノデアアルカラ  $\alpha x - y + \beta = 0$ ガコノ範圍ヲ格子点ヲ過ツテモヨイワケデ、ソノトキハ (1)ノ右辺ハ  $\frac{1}{\sqrt{5}}$ ヨリ小サクハ出来ナイコトハふらうらつーぼ水田ノ定理カラ明デアアルカラ、コノ結果ハソノ意味ヲ最良ノ結果デアアル。

然シ (1)ノ右辺ガ  $\frac{1}{\sqrt{5}}$ ニ近イノハ  $\alpha x - y + \beta = 0$ ガ Y 軸ノ左側ヲ格子点ヲ過ルカ又ハ格子点ノ非常ニ近クヲ過ル場合デアラウコトハ想像サレル。ソレ故 Y 軸ノ左側ニ於ケル  $|x(\alpha x - y + \beta)|$ ニアル制限ヲ與ヘレバ (1)ノ右辺ハソレニ應ジテモット小サクナルデアラウ。コノ意味ニ於テコノ問題ヲ研究シテ見ヨウ。

著者ノ論文 Über die Größenordnung. u. s. w.  
ノ I. Japanese Journal of Math. III. pp. 1-26  
ヲ著者ハ

$$L: \alpha x - y + \beta = 0$$

、*Näherungspunkt* とルモノヲ定ム。ソノ分布状態  
ニツイテ述ベテ。

ソノ中、最初ノ結果トシテ  $L$  ト  $Y$  軸トニヨツテ分ケテ  
タ四ツノ部分ノ中ノ一ツノ中ニ二点、ソノ隣リニ一点ヅツア  
リ且ツ面積 1 ノ平行四辺形ノ頂点トナルモノヲ *Näherungspunkt*  
*punkt* ノ組ガ無数ニアル (pp. 6.7 ヘソノ  $P_m, P_l'', P_n, Q_n$ )  
ト云フコトヲ特記シテオク。コノ四ツノ近似点ノ近似度ヲ比  
較シテ見ヨウ。  $L$  ヲ  $X$  軸 -  $Y$  軸ヲ  $Y$  軸ニ交換スルモノヲ面積  
不変ノ *Affin* 変換ヲ行フストキ、カモノノ四点が  $A, B, C, D$   
ニ來ストシ、 $A$  が第二象限 =  $B, D$  が第一象限 =  $C$  が第四象限  
ニアツタトシ  $ACDB$

ガコノ順ニ平行四辺形  
ノ頂点トナツストスル。

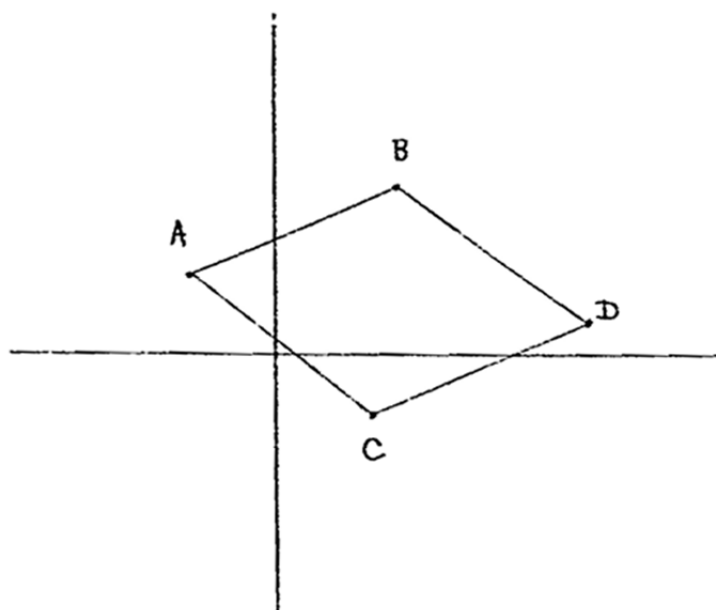
モノ方ニ依ツテ  $A$  ハ

$(-a, a)$  ト云フ座標

ヲモツモノトスルコ

トガ出來ル。  $B, C$

ノ座標ヲ  $(x, y), (u, v)$



トスルト  $D$  ノ座標ハ  $(x+u+a, y-v-a)$  トナル。コレ  
等ノ点ニ對テスル近似点ニツイテ  $|x(\alpha x - y + \beta)|$  ノ値ハ  
コレヲノ点ノ  $x$  座標ト  $y$  座標トノ積ニ等シイ。  $A$  ガ  $Y$  軸  
ノ左側ノ近似点ニ對テスル点トスレバ問題ハ  $a$  ヲ常数トシ平  
行四辺形  $ABCD$  ノ面積ガ 1 トルトキ

$$\text{Min}(xy, uv, (x+u+a)(y-u-a))$$

1. 最大値ヲ求ムルト云フコト = 歸スル。コノ Min ヲ R トスレバ  $xy = \pm R$  ナル曲線ハ B, C, D ノ何レカヲ過ル。他ノ点ガコノ曲線上 = ナイトキハ BD ヲソノ直線上 = ズラシ又 AC ノ長サト AB ノ長サヲカヘ ( $\square ABCD = 1$  ナルマウ) テ R ヲ次第 = 大キクシ、遂 = B, C, D ガ皆コノ曲線上 = アルマウ = スルコトガ出來ル。

故 = コノトキダケヲ考ヘレバヨイコト = ナル。コノトキ R ノ値ヲ零トオケバ

$$xy = 0, uv = 0, (x+u+a)(y-u-a) = 0$$

$$(x+a)(v+a) + (y-a)(u+a) = 1$$

(平行四辺形ノ面積)

ナル式ヲ得ル。コノ條件ノ下 = 零ノ最大値ヲ求ムレバヨイ。勿論文字ハスベテ正數ヲ表ハシ、 $a$  ハ常數ヲ表ハシテ居ル。

消去ノ中途ノ式ハ略ストシテ  $x, y, v$  ヲ消去シ得テ式ヲ

$u = v$  イテ整頓スルト

$$2a(3x+a^2-1)u^2 + (5x^2+10a^2x+a^4-1)u + 2ax(3x+a^2+1) = 0 \text{ ----- (A)}$$

トナル。コノ方程式ガ正根ヲモツタメ = ハ

$$3x+a^2-1 < 0 \text{ ----- (B)}$$

又ハ

$$5x^2+10a^2x+a^4-1 < 0 \text{ ----- (C)}$$

ヲナケレバナラナイ。

$a = \frac{1}{2}$  とすると  $(B) \in (C)$  を 各  $\frac{1}{4}$  を 與へル。コノ  
トキ Y 軸ノ右側ノ近似度ト左側ノ近似度が同一ノ制限  
ヲ受ケ、ソレガ  $\frac{1}{4}$  トナルノガアルカラ 汎用コーシーノ定  
理ニカヘツタリケダアル。

故ニ  $a > \frac{1}{2}$  ナルトキハ Y 軸ノ左側ト右側ヲ入レカヘ  
テ考ヘレバヨイコトニナルカラ  $a < \frac{1}{2}$  ノ場合ガケ考ヘレバ  
ヨイ。

$$(B) \text{ カラ } \quad \varepsilon < \frac{1-a^2}{3}$$

$$(C) \text{ カラ } \quad \varepsilon < \sqrt{\frac{1+4a^4}{5}} - a^2$$

コノニツノ不等式ノ右辺ヲ比較スルト

$$\frac{1-a^2}{3} < \sqrt{\frac{1+4a^4}{5}} - a^2$$

トオケバ

$$(a^2-1)(4a^2-1) > 0$$

ナル不等式ヲ得ルガ、コレハ正ニ考ヘタ  $a$  ノ範囲ガ成立スル。  
故ニ 求ムル不等式ハ

$$\varepsilon < \sqrt{\frac{1+4a^4}{5}} - a^2$$

デアレ。原問題ニカヘルト

$$\lim_{x \rightarrow 0} |x(2x - y + \beta)| = P,$$

( $x, y$  ハ 整数)

$$\lim_{x \rightarrow 0} |x(2x - y + \beta)| = N.$$

トオケバ

$$P \leq \sqrt{\frac{1+4N^2}{5}} - N \quad (\text{且} \forall N < \frac{1}{4} \text{ノトキ}) \dots\dots (D)$$

コノ右辺ハ  $N=0$  ノトキ  $\frac{1}{\sqrt{5}}$  トナリ、 $N > 0$  ノトキ  $\frac{1}{\sqrt{5}}$  ヨリ小サシ、故ニコノ定理ハ *Klimcline* ノ定理ヲ含ムワケデアレル。

次ニモウ少シ詳しく考ヘテ見ヨウ。コノ結果ハ (C) カラ得ヌノデアアルカラ、コレガ等号ヲトルノハ (A) ノ中項ガ0トナルトキデアレル。ソノトキ (B) ハ成立シナイノデアアルカラ初項ハ正トナリ、Aハ虚根ヲモツコトニナル。故ニ (D) ノ等号ノ近クハ (A) ガ実根ヲモツト云フ条件カラ除去スルコトガ出来ルデアラウ。サウスレバ (D) ハモット精密ニ出来ルワケデアレル。 (A) ノ判別式ヲ作ルト

$$(5x^2 + 10a^2x + a^4 - 1)^2 \geq 4a^2x \{ (3x + a^2)^2 - 1 \}$$

エノ式ノ左辺ハ  $x = \sqrt{\frac{1+4a^4}{5}} - a^2$  ノトキ0、 $x$ ガコレヨ

リ減ズレバ増シ、右辺ハ  $x = \sqrt{\frac{1+4a^4}{5}} - a^2$  ノトキ正ガ $x$

ガコレヨリ減ズレバ減ジ  $x = \frac{1-a^2}{3}$  ノトキ0トナル。

故ニ

$$\sqrt{\frac{1+4a^4}{5}} - a^2 > x, > \frac{1-a^2}{3}$$

ナルアル $x$ 、 $x$ ガコノ式ガ等号ヲトル所ガアル。コノ $x$ 、ガ求メラレ、バ上ノ結果ハ

$$x < x,$$

ト改良サレルワケデアレル。目下 $x$ ノ代リニ何か簡單ノ

式ガ之レニ近イモノヲ求メタイト工夫シテ居ル所デアル。

——七月十一日記——